

資料No. 6

江田島市公共交通協議会
令和2年3月16日

中町／宇品航路指定管理者募集に係る選定結果について

1 募集の概要

(1) 募集期間

令和元年12月18日（水）から令和2年2月10日（月）まで

(2) 申込者（1社）

・瀬戸内シーライン株式会社

（広島市南区宇品海岸一丁目13番13号：代表取締役 仁田 一郎）

2 審査の概要と結果

(1) 指定管理者選定委員会の開催日

令和2年2月21日（金）14時15分～

(2) 審査の方法

指定管理者選定委員会において、申込者からの申請書類等に基づきヒアリングを実施のうえ、あらかじめ定めた評価項目ごとに採点を行い、総合評価点（各委員の平均）が70点を上回っており、かつ、安定的に航路が運航できる案を提出した者を、江田島市中町／宇品航路の指定管理者の候補者として選定する。

(3) 審査基準

評価項目	点数
評価の視点	
1 経営の基本的な考え方	5
① 団体の基本理念、方針、行動規範等が記載され、全職員等が目標に向けて邁進していけるような考え方を持っているか。	
② 広報に関して、しっかりとした体制や考え方が確立されているか。	
2 職員の配置及び執行体制	5
① 責任者を含め職員の配置が適正であり、組織図に執行体制が記載され、各業務に必要な職員が配置されているか。	
② 労務管理に関する体制が確立されているか。	
3 運航計画	10
① 公募条件で示したサービス水準（P10～13「6管理に関する基準」）が満たされているか。	
② 経費削減策や将来の構想等があるか。	
4 要員計画と確保力	15
① 当初の要員計画及び年間要員計画が記載されているか。	
② 要員計画に経費削減策や将来の構想等が記載されているか。	
③ 運航に必要な体制を確保できるか。	
5 利用促進及び増収計画	15
① 利用促進策や増収対策のアイデアがあるか。	
② その他、具体的かつ有用な自主事業の提案はあるか。	
6 事業収支計画	20
① 事業の採算が取れる計画となっているか。また、収益率は高いか。	
② 収入の見込み、経費等の支出の見込みは適切な数値となっているか。	
③ 経営の安定性と継続性はあるか。	

7	資金計画	5
	① 継続的に事業を進められる資金計画になっているか。	
	② 事業の継続に必要な資金力があるか。	
8	教育体制	5
	① 教育マニュアルを作成し、教育体制が確立されているか。	
	② 安全・サービス・生産性等を職員へ教育できる体制になっているか。	
9	運輸安全マネジメント対応マニュアル	5
	① 運輸安全マネジメント対応マニュアルが整備されているか。	
	② 安全統括管理者等が選任されているか。	
10	地域への貢献	5
	地域貢献や地域連携に関する実績や、具体的な計画案があるか。	
11	その他	10
	① 緊急時（事故及び災害など）に対応できる資金があるか。	
	② 既存の事業の採算性に課題はないか。	
	③ 利用者ニーズの把握及びその反映は十分に行えるか。	
	④ 江田島市との連携体制を確立し、業務報告等を十分に行えるか。	
総合評価点		100

3 審査委員

職名	氏名	所属等
委員長	土手 三生	江田島市副市長
委員	小嶋 光信	(一財) 地域公共交通総合研究所 代表理事
〃	水戸岡 鋭治	㈱ドーンデザイン研究所 代表取締役 九州旅客鉄道 (JR九州) デザイン顧問
〃	出本 宏	出本公認会計士事務所 所長 (日本公認会計士協会中国会推薦)
〃	野原 建一	県立広島大学名誉教授 江田島市公共交通協議会議長
〃	山田 和孝	広島県地域政策局地域力創造課 課長
〃	小野藤 訓	江田島市教育長
〃	江郷 孝行	江田島市企画部長 (施設管理部長)

4 審査結果

審査の結果、瀬戸内シーライン株式会社を江田島市中町／宇品航路の指定管理者の候補者として選定した。

団体名	瀬戸内シーライン株式会社
点数	87.83点／100点
総評	<p>提案内容について審査基準に基づく総合的な評価を行った結果、候補者は、全評価項目の7割以上（11項目中10項目が8割以上）の点数を獲得し、かつ、次期指定管理期間（R2.10～R7.9）においても、安定的な運航が確保できると判断した。</p> <p>（ポイント）</p> <ul style="list-style-type: none">・評価項目「3 運航計画」 自社船舶の活用や労務体系の変更による経費節減策の具体性等が評価された。・評価項目「4 要員計画と確保力」 複数航路を運航する強みを活かした要員確保力が評価された。・「6 事業収支計画」 経費削減や自主事業収益の確保により、次期5年間トータルで黒字化を目指す計画となっている点が評価された。